

2011年4月1日～2023年12月31日の間に日本紅斑熱で福山市民病院に入院した方 およびそのご家族の方へ

—「日本紅斑熱の重症化因子を検討するための後方視的研究」へご協力をお願い—

研究機関名 福山市民病院
研究機関長 室 雅彦
研究責任者 小田 尚廣 福山市民病院 内科
研究分担者 高田 一郎 福山市民病院 内科

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

近年、ダニ媒介感染症である日本紅斑熱の発生が増加しており、広島県東部も好発地域です。福山市民病院は当該圏域における唯一の救命救急センターであり、これまで重症日本紅斑熱の患者さんが多数入院しています。抗菌薬による治療が有効であることが多いですが、一部の症例では播種性血管内凝固症候群や多臓器不全で重症化し得ます。本研究では、2011年4月～2023年12月にかけて、福山市民病院に入院した日本紅斑熱患者さんを対象として、日本紅斑熱の重症化に関わる臨床因子を検索することを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

日本紅斑熱の重症化に関わる臨床因子を研究することで、今後の日本紅斑熱における診断・治療戦略の開発に役立つことが予想されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年4月～2023年12月の間に福山市民病院に入院した日本紅斑熱の方42人を研究対象とします。

2) 研究期間

2024年5月24日倫理審査委員会承認後 ～ 2026年3月31日

3) 研究方法

2011年4月～2023年12月の間に福山市民病院に入院した日本紅斑熱の方で、研究者が診療情報をもとに治療効果に関するデータを選び、分析を行い、日本紅斑熱の重症化に関わる臨床因子について調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたのデータより病院のID、氏名を取り除き、研究対象者の個人情報とは無関係の番号をつけて、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、性別、診断名、BMI、病歴など
- 診察所見、治療内容、画像データ、血液検査、尿検査、心電図など

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、福山市民病院の医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを氏名、生年月日など直ちに個人を特定できる情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年11月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不便が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

〒721-8511 広島県福山市蔵王町五丁目23番1号
福山市民病院 内科 高田 一郎
連絡先：病院代表 084-941-5151（平日 8:30～17:00）